

令和7年度文化財防火訓練

1月26日は、奈良県の法隆寺金堂壁画が焼損した日（昭和24年）に当たることから「文化財防火デー」と定められています。この日を中心として文化財を火災や震災、その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動を展開しています。

市でも1月24日、國王神社で防火訓練を実施し、坂東消防署職員と地元消防団第8分団、國王神社氏子、文化財保護審議会委員、地元の皆さんが火災発生時の対応を確認しました。訓練は、坂東消防署職員の指導のもと、消防用設備の点検や通報訓練、消火器を使つての初期消火活動、消防分団員による放水訓練などを実施し

ました。

初期消火訓練では、消火器の使い方を学び、万が一の時には冷静に対処できる心構えを養いました。

坂東消防署の皆さんをはじめ、たくさんの方にご協力いただき、誠にありがとうございました。



初期消火訓練



放水訓練

中川小学校で実験型体験授業

1月27日、中川小学校の4年生と5年生を対象に、株式会社高橋芝園土木の皆さんによる体験授業が行われました。児童達は、模型にジョウロで雨を降らせて川の様子を観察し、堤防の工事と働きについて学びました。また、3種類の土に水をかけて性質を見ることが堤防に適した土について学びました。4年生の板橋さきさんは「堤防に向いている土の性質を知ることができました。まちを守る堤防について、知ることができて良かったです。感想を話してくれました。」



いばらきっ子郷土検定県大会 東中学校2年生が参加

2月7日、ザ・ヒロサワ・シティ会館（水戸市）で、いばらきっ子郷土検定県大会（県教育委員会主催）が開催され、坂東市を代表して東中学校2年生選抜メンバーが参加しました。会場には県内から各市町村の予選を勝ち抜いた2年生が集まり、茨城の郷土に関する問題をクイズ形式で競い合い、熱戦が繰り広げられました。全員参加型の〇×クイズなどのアトラクションもあり、笑顔あふれる思い出に残る大会となりました。

チームリーダー 針替咲花さん

一回戦を勝つことはできなかったけれど、負けて学ぶことはあったし、市の代表として全員で協力して戦えたのでいい経験をすることができて良かったです。



電話を受けたら詐欺だと疑ってみてください。電話を切ったらすぐに事実かどうか確認しましょう